



令和4年11月9日

各位

上場会社名 株式会社 コンセック
 代表者 代表取締役会長 佐々木 秀隆
 (コード番号 9895)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 岡本 浩一
 (TEL 082-277-5451)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和4年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和5年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,050	16	34	△2	△1.12
今回修正予想(B)	4,532	△65	△48	△62	△34.72
増減額(B-A)	△518	△81	△82	△60	
増減率(%)	△10.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和4年3月期第2四半期)	4,774	△5	17	△17	△9.34

令和5年3月期通期連結業績予想数値の修正(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	169	216	82	45.72
今回修正予想(B)	9,750	50	100	40	22.30
増減額(B-A)	△550	△119	△116	△42	
増減率(%)	△5.3	△70.4	△53.7	△51.2	
(ご参考)前期実績 (令和4年3月期)	10,081	325	369	60	33.29

令和5年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,900	60	31	17.29
今回修正予想(B)	3,592	△19	△37	△20.63
増減額(B-A)	△308	△79	△68	
増減率(%)	△7.9	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和4年3月期第2四半期)	3,892	58	26	14.53

令和5年3月期通期個別業績予想数値の修正(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,100	219	92	51.30
今回修正予想(B)	7,800	70	20	11.15
増減額(B-A)	△300	△149	△72	
増減率(%)	△3.7	△68.0	△78.3	
(ご参考)前期実績 (令和4年3月期)	8,162	368	79	44.23

修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況が高止まりで推移するなか、経済活動に係る制限は徐々に緩和されてきたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化、エネルギー資源や原材料価格の高騰、急激な円安の進行、急速な物価上昇など、国内経済を取り巻く環境は非常に厳しく不安定な状況となりました。

このような状況の下、当社の主力事業である切削機具、建設・生活関連事業においては、販売価格引き上げの影響により、当該事業の顧客中心層である中小建設事業者の需要が伸び悩んだほか、特殊工事業における大型案件の施工遅延もあり、当初公表しました売上予測を下回る見込みとなりました。

さらに、連結子会社を含めグループ全体で販売費及び一般管理費の抑制に努めてまいりましたが、原材料価格や燃料価格の高騰に加え、部品製造を委託している中国の子会社においては、急速な円安の影響により製造コストが上昇し、利益を押し下げる要因となりました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間における連結業績予想及び個別業績予想については、当初予測を下回る見込みとなることから、同業績予想の修正をいたします。

また、原材料価格の高止まりや円安傾向などのマイナス要因は、今後も不透明な経済状況のなか暫く続いていくものと予測されるため、通期の業績予想についても、第2四半期連結累計期間の推移を踏まえ修正いたします。

以上